

町勢状況

昭和46.1.1 現在
世帯数 1,524戸
人口 5,555人
男 2,607人
女 2,948人

広報たしる

No. 219

昭和46年

新年号

田代町総務課編集

毎月5日 1650部発行

謹賀新年



開拓すすむ麓川流域



一月のこよみと 行事予定

あけましておめでとう
ございます。

「ことしこそは、ことしこそはで暮れにけり」と昔からいわれるとおり 全くそのとおりでした？

それでも、そうぞうしかったジングルベルの音楽もやがて小さく静かになり、一九七〇年も暮れて、すがすがしい新年を迎えました。

ことしもまたお互い元気で頑張りましょう。昨年はいろんな仕事が多くあった人もありましたが大半の人が平年と比べて大差のないことです。

大晦日の夜は、家族そろって、お母さんの特別念入りのご馳走で舌づつみを打ちながら過ぎし一年のできごとをふり返り語りはつきなかつたことでしょう。苦しかったこと、ふんがいしたこと、金のかゝったこと、嬉しかったこと。

こ年は猪（いのしし）の年です。こうと方針がきまったら猪のように、まっしぐらに進みましょう。

一日 元旦

四日 御用はじめ

五日 成人式（午後一時、田代小講堂）

保護費支給日

ミルク配給

六日 経済建設委員会

八日 学校始業式

九日 消防出初式

十三日 議員研修会

十四日 （鹿兒島市）

十五日 成人の日（祭日）

二十日 災害復旧工事入札

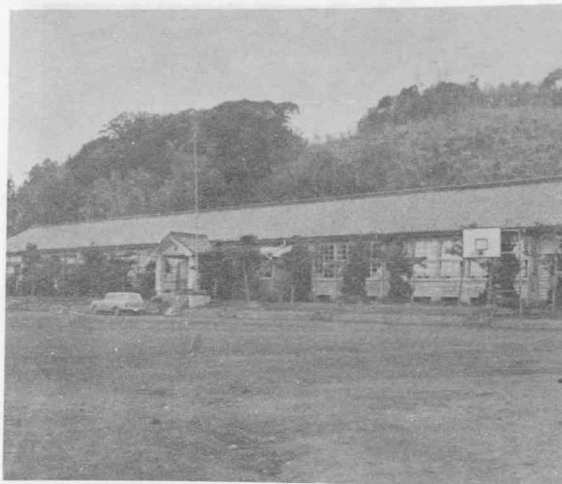
（原沢地区）

二六日 農業委員会

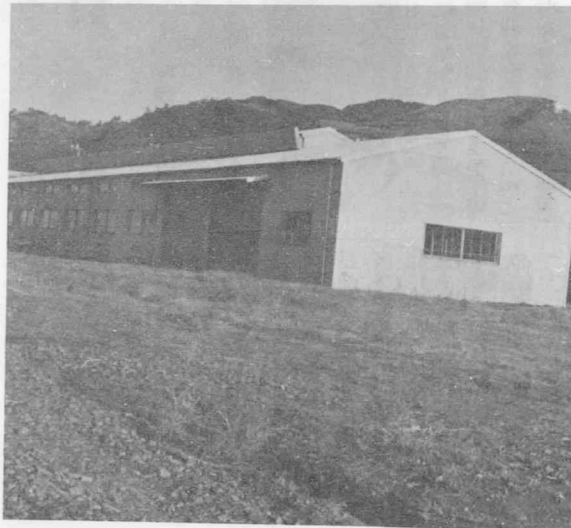


④ 田代高校県立移管

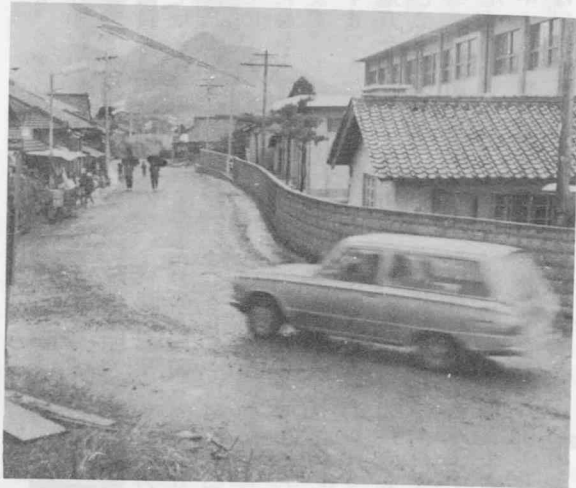
南大隅高校田代分校となる。(4月)



⑥ 農協大型製茶工場完成(3月)



⑧ 大原地区町道舗装第一号900M完成



③ 国勢調査が実施され、人口5,602、世帯数1,533
昭和40年より1,185人の減少

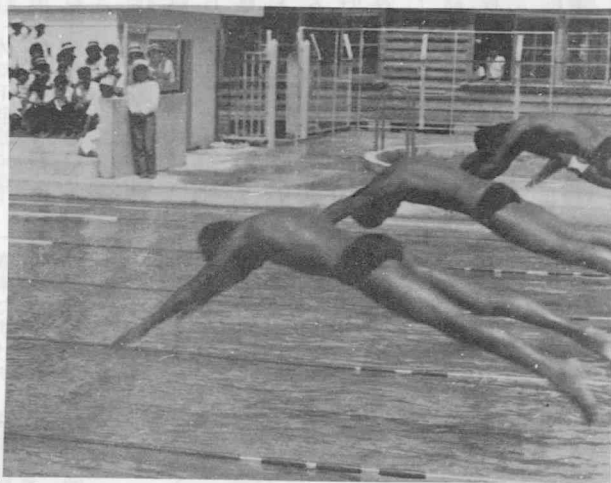


⑤ 大原小学校鉄筋校舎並びに体育館完成

(2月~12月)



⑦ 田代小学校プール完成(7月)



年頭のごあいさつ

町長 原 順



明けましてお目出度うございます。

ご家族みんな健康でお正月を迎えられたでしょうか。不幸に病の床で新年を迎えられる方残念でしょう。一日も早く元気になってください。

あわただしかった師走から大晦日も一夜明けて元日を迎え、祖先の霊前に礼拝をすませ家族揃って一年の無事と繁栄を祈りつつ祝の膳につく改まった気分はまことにすがすがしく、ことしこそはと、また新しい勇気が湧きます。

頃の人と同じぐらいです。日本全国の農山村はみな人口の減少に悩んでいるとはいふものの、まことに淋しく残念なことです。本町の農家の所得をみますと七〇万円~二〇〇万円の所得のある農家が一〇二戸、そのうち一〇〇万円以上の所得のある農家は四一戸にすぎません。そして生活の程度も上っており、この程度の所得ではなかなか生活がむずかしいということ、そしてこの原因としては一戸当りの経営規模が小さいので、機械化すると機械化だおれをするので思いきってできない、するとそのために労働がはげしくなる。はげしい割には所得が上らないと、いったようなことです。人口が減少するということも農業という面から考えると、人口の減っただけは何とか経営拡大につながるから、よろしいのではないかという考え方も一面では成立します。しかし一方では人口が減少する

と部落が成立たなくなる。ひいては町が成立たなくなるということになります。そこでこの解決方法として次のように考えて町政を進めて行きたいと考えています。

(一)、農業は大型化、専門化の方向に進む。
(二)、町内または近隣に働く場所を得られるよう努力し農業外の所得で暮らせるようにする。

(一)の農業専門大型化の方向については単に耕地を集団化するだけでなく人間的にも気持の合った、また技術的にもレベルの揃った人が町内から参加する。そのためには通勤農業で差支えないと考えます。
(二)の企業の誘致(ゆうち)について。

田代町の耕地面積から考えて、農業専業で生計の成立つ農家戸数はせいぜい二〇〇戸~三〇〇戸にすぎません。従って一方では兼業農家の育成を忘れることはできません。自給農業をやりながら現金収入を得る機会を持つ企業の誘致は今后もっとも努力しなければなりません。

収入と支出のバランスがとれ、と、みんなに良い仕事はないかとあせってきます。そしていろいろ手を出してみますが、結局、なにかに徹底して打ち込む以外に方法はないようです。

田代町ではやっぱり、茶であり、蚕であり、畜産であり、たばこであり・・・というように今までやってきたものと正面からとりくむこと以外にないよう思っています。

そして生活のための環境つまり道路、水道、ごみ、し尿などの処理を完全にすることだと思っています。

今日の都会には公害が満ちあふれています。この公害のない郷土に我々が安心して働ける場所をつくるということは、我々自らの手でやるべきことではないでしょうか。

七〇年代の田代町の政治目標はそこにおかなくてはなりません。

みなさんご年もまた頑張りましょう。



昭和45年度 町内十大ニュース

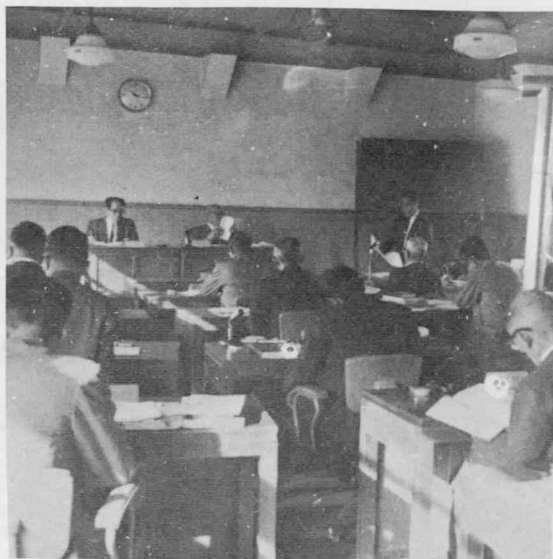
① 町長選挙で原順氏三たび当選(6月)



② 柴立県議会議員参議院議員
自民党地区公認決定(九月)



議会だより
十二月定例町議会は十二月十八日開会されましたが、今回の会議では次の議題が審議可決されました。
●一、教育委員会委員の任命について。
教育委員に中野利三郎氏が再任されました。
●二、固定資産評価審査委員会の委員の任命について。
委員赤塚貢氏の任期満了に伴い後任に山野三蔵氏が任命されました。
●三、昭和四十四年度の各会計決算の認定について。
これは決算特別委員会に



審議を付託され、三月の議会で再審議されることになりました。
特別委員会は議員七名で委員長南園忠男氏副委員長は湯ノ谷義雄氏が選任されました。
●四、田代町体育施設の設置及び管理に関する条例の制定について。
これは川原の公営グラウンドの設置にともない、これを使用管理について細かな規定を新しくつくったものであります。
●五、田代町委員会条例の一部を改正する条例の制定について。
これは議会の委員会の委

員任期が四年であったものを二年にあらためたものであります。
●六、辺地総合整備計画の策定について。
これは盤山地区、鶴戸野地区における公共的施設を整備しようというのでありますが、今回は特に同地域の農道の整備しようという計画であります。
●七、昭和四十五年度田代町一般会計補正予算
今回の追加補正額は二〇五九万四千円でした。
●八、簡易水道事業特別会計補正予算
今回の追加補正額一四万一千円でした。
●九、職員の給与に関する条例の一部を改正する条例制定について。
これは例年行われる国家公務員に準ずる役場職員の給与引上げのための条例の改正であります。
●十、昭和四十五年度田代町国民健康保険特別会計補正予算
追加補正額四〇万七千円でした。
この外一般質問で南大隅高校の分校となった田代高校の問題について、町長執行部との間に熱心な討議がなされました。

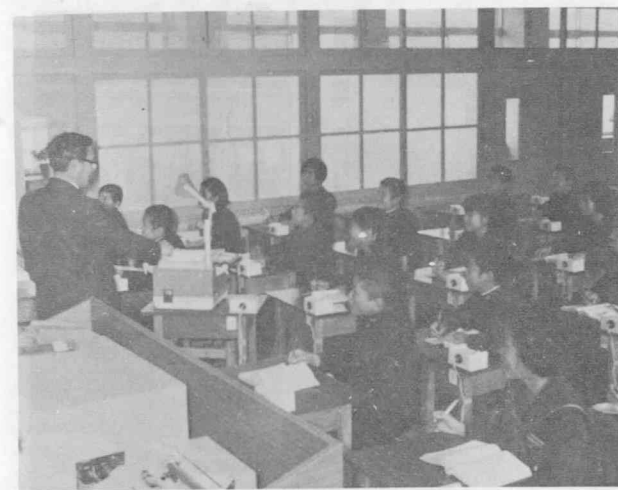
鹿兒島県職員採用試験案内
(高校卒程度)
鹿兒島県人事委員会
鹿兒島県職員の採用試験が行われます。
一般事務員 七〇名
試験の日時、
昭和四十六年一月三十一日
受験受付 一月二十日まで
受験場所 鹿屋市は希望のある方は役場総務課へ問い合わせてください。
大根占簡易裁判所に家庭裁判所の出張所併設
永い間家庭裁判所の併設を最高裁判所に陳情中でありましたが、これが承認せられ一月一日から開設されることになりました。
夫婦間の問題、男女関係、親子養子、相続、家事審判など一切とりあつかわれます。法律相談など気軽に相談ください。
現在田代町の家事調停委員は次のとおりです。
野田 テル
野田 静夫
押川 熊次郎



香典返しを寄附
東中郡の前田京子様は八月二十日、同じく貴田チヨキ様は十月十一日、橋ノ口の益満々右エ門様は十一月一日、新田の田尻ユキ様は十月二十五日、鶴園の久保アキ様は十一月十一日、早瀬の小路チエ様は十二月四日それぞれなくなられました。その忌明けに香典返しとして御遺族の方々より次のとおり町の社会福祉協議会に寄附してくださいました。
前田春夫様より五〇〇〇円
貴田勝美様より五〇〇〇円
西迫 栄様より一〇〇〇〇円
田尻静夫様より一〇〇〇〇円
久保 卓様より五〇〇〇円
小路政雄様より一〇〇〇〇円
町民の皆様とともに謹んでお悔み申し上げると共に厚くお礼を申し上げます。



⑩ 田代中学校に郡内ただ一校教育機器設置される。



⑨ 米の生産調整26ha実施さる



輝かしい昭和四十六年の新春を迎え町民の皆さんと共に心から祝福する次第であります。
旧年は国内的には「人類の進歩と調和」を基調とする万国博覧会が、開催せられ実に、世界に冠たる成果を納め、農業面にあつては米の作づけ制限による一割減反と云う空前の出来事があり、又対外的には日米安全保障条約の解消か、延長かをめぐって、大きな外交問題もありましたが、その何れもが円満且つ平和裡に解決されました。
町内においては、麓川河川改修と併行して圃場整備の継続事業が、順調に進み神代さながらと云われていた未開地域が面目を一新しております。
又永い間、懸案の田代町立高校が、県立に昇格し、政治的には、柴立県議会議長が参議院議員自民党地方区公認を勝ち取る等、内外共に、大いに発展且つ躍進しつつあります。
然しながら十月国勢調査の結果は、戸籍人口一〇、二〇〇人が五六〇〇人に減じ益々過疎状態を露呈しつつありますが、このことは、全国的現象にして日本農業の大きな、激動期を迎えたことを象徴するものとして反省且つ注目を要するところでありますが、その一面新年からは、農民の永い悲願であった農業者の年金制度が実現したことは、農民の老後保障と、農業近代化のために慶祝にたえないところであります。
ところで、本年は、実に選挙の年でもあります。四月中に、知事、県議、町議の地方選挙が、更に六月には、参議員選挙が行なわれます。
従って我が町議十四名の

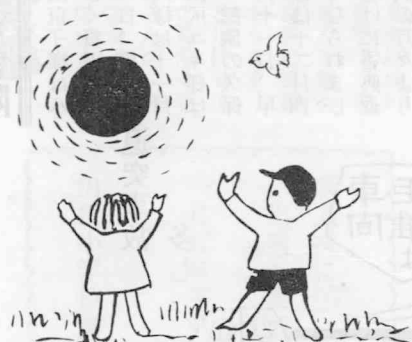
精鋭も、改選となります。在任中町民皆さんの絶大な御協力と御指導の下、一杯議員たるの職責を尽くさして頂き大過もなく残る四ヶ月の任期を終えんとしているのではありません。茲に心から厚くお礼申し上げます。
申すまでもなく選挙は、中央地方を通じ厳しく姿勢を正し公明選挙を期し以て政治の刷新を期せねばなりません。
就中六月の柴立議長参議院選は田代町空前の大壮挙であるだけに小村田代として挙町一体県下全域に亘って総出動体制を布き普く御協力を仰がなくてはなりません。
因に昨秋柴立議長の公認申請に魁かけて我が姉妹町と論の方々が町を挙げて各方面に格別のご協力を賜わったことに対し深甚の感謝を捧げる次第であります。
以上旧年を反省し併せて新春に対処するの覚悟を新たににして町民皆さんの一層の御鞭撻と御協力をお願いして御挨拶いたします。

管農相談所の若松秋男さんの次女明美ちゃん(五才)は去る五月、自宅付近で一八〇〇円の拾い物をしました。姉さんの里美ちゃん(八才)と隣り近所間い合せたが落ち主がわからず、二人で駐在所へ届けました。半年たった去る十二月のかば駐在所から落ち主不明で拾い主の二人に返金されました。その後、明美ちゃんと里美ちゃんは役場を訪れ一八〇〇円をそのまゝ「歳末たすけあい運動」に寄附してくださいました。幼い姉妹の美しい心に頭の下る思いです。

まちの話題
成人式に
出席しましょう
一月五日午後一時
受付
田代小学校講堂で

年末年始には次のことを 守りましょう

1. 年末、年始の虚礼的な贈答品のやりとりはやめましょう。
2. 家の内外、道路、広場などきれいにしましょう。
3. 交通道德を守り、事故を防ぎましょう。
4. 年のはじめにはっきりした計画をたてましょう。
5. 部落年始会は簡素に、回礼は近親者間にとどめましょう。
6. 祝日には国旗をかがげましょう。(国旗玉をつけましょう。)
7. 七・五・三、七草祝いは子供本位に簡素にしましょう。
8. 成人式はできるだけ簡単な服装で参加しましょう。
9. 正月は家庭本位にしてたのしく過しましょう。



住民登録をされましたか

ことしは選挙の当り年です。四月十七日は、県知事、県議、四月二十五日は、町の議員の選挙が行われる予定です。

最近町外から、帰ってこられた人は、おそくとも、一月の十五日前までには住民登録をしないと選挙の投票資格がなくなります。